病児・病後児保育を中心とした子育て支援について
施設環境整備の検討を進める

黒木正建（くろきまさたけ）議員

問 町内にある施設の現状について伺う。

町長 ファミリーサポートセンターは、石井記念日新保育園が町からの委託を受け実施している。
お助け会員とお願い会員の双方が協力しあって活動している。
対象年齢は小学3年生までで年間406名の利用となっている。
ももの木保育園は病後児保育で小学3年生までが対象となっている。昨年度は167名の利用となっている。

問 町からの両施設への助成について伺う。

福祉課長 ファミリーサポートセンターへ、210万8千円、ももの木保育園へ422万6千円である。

問 東西小学校の年間病欠児童数について伺う。

福祉課長 東小学校138名、西小学校1186名である。

問 保護者からの要望等について伺う。

福祉課長 特に利用者からの要望は上がっていない。

◆蚊口浜の町有地貸付の現状について

問 貸付契約期間、貸付住宅戸数、空き家戸数について伺う。

町長 3年ごとの契約更新となっており、総戸数は26戸で、空き家は9戸となっている。

問 防犯、防火上の取り組み及び土地返還後の管理について伺う。

町長 地域の方々にも協力をお願いし、役場担当職員による巡回、現地確認など適正に管理している。

◆旧蚊口保育園の活用について

問 地域住民の活動の場として利用できないか。

町長 建物は古く、合併浄化槽は使用できない状況である。
利用するには多額の費用を必要とする。今後も庁舎備品等を管理する場所として使用したいと考えている。

旧蚊口保育園

町長の公約実現状況は
現実に向けて進んでいる

柏木忠典（かしわぎただのり）議員

問 町長の公約実現の状況を伺う。

町長 達成すべき目標を具体的に取り上げ、公約実現に現実に向けて進んでいる。

問 新教育長の教育方針・抱負を伺う。

教育長 指導効果を備えた学校作り、就学児童の教育、保育や子育て支援等も視野にいれたトータルな子育ての研究と実践、高いレベルのいざなう文化施設の運営等に取り組む。

問 教職員の超過勤務・過熱する部活動の実態はないのか。

教育総務課長 調査を実施、管理職・初任3年以内の職員が超過勤務をしている傾向、午後8時以降に退庁した職員が全体の5割程度いたこと、部活動の顧問をしている職員が超過勤務をしている状況。

◆タータントラック設置

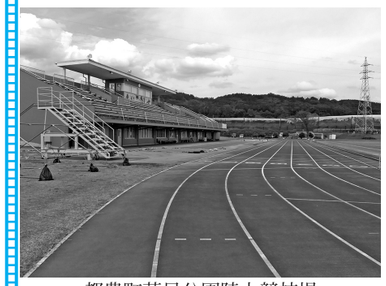
問 百名近くの部員が練習に励んでいる陸上スポーツ少年団（小学生・中学生・高校生）が毎日の練習に、雨の日でも外で練習できるように、有意義な練習、成果を挙げられるように、また、一般の人にもジョキングに活用出来る、ぜひとも、タータントラックの設置を願いたい。

教育長 高額な設置費用がかかる、設置の是非から慎重に検討、早急に設置することは、現段階では困難、照明については、他の種目との整合性を踏まえ検討。

◆老人福祉政策について

問 高齢者の現状は。

健康保険課長 65歳以上の高齢者人口は年々増加、平成30年9月1日現在6525人、高齢化率31・84％、また、要介護認定者数は914人、認定率は14・0％、平成20年度以降、ほぼ横ばいで推移している。対策としては、要介護状態にならず、生き生きと健康で自立した生活ができる、体の状態を維持することが必要そのため、元気アップ教室・いきいき体操等の介護予防事業に取り組み、体力・筋力の維持、向上、認知機能の低下等の対策を行っている。



都農町藤見公園陸上競技場

図書館あり方検討委員会の今後の方向性は
増築・改修の方向で協議を進めていく

津曲牧子（つまがりまきこ）議員

問 図書館あり方検討委員会の経緯は。

町長 2回開催しており今後は具体的に委員に協議をお願いする。

問 検討委員会の答申はいつ頃になるのか。
当初は10月をめどに考えていたが、増築を前提に検討中であり決定はしていない。

社会教育課長 委員会の中で建設する提案は出ていないのか。

問 行政の考えを示してとの要望があり、増築・改修の方向で進めている。

◆中高一貫教育について

問 東西中学校統合の考えを見送る理由は。

教育総務課長 検討の結果6つの施設改修案を作成し、建設コストや工事期間時の児童生徒の学校活動また学校給食、津波避難施設の利用等の評価と、財政状況を鑑み統合を見送った。

◆古文書について

問 貴重な古文書を活用する取り組みは。

教育長 大人を対象に古文書講座、超入門編、また小中学生対象に子ども明倫塾を行い古文書に親しむ講座を開催している。

問 具体的な内容は。

社会教育課長 古文書講座は6月から年4回の予定で実施し、子ども明倫塾は小学校4年生から中学校3年生対象に、町の偉人、歴史名所旧跡の紹介と古文書講座を入れている。

問 明倫堂書庫・秋月毅堂書庫の活用の取り組みは。

教育長 10月に開催する藩校明倫堂240年シンポジウムに合わせて、藩校の教科書展示の展覧会を行っている。

問 平成25年に制定された「新明倫の教え」の制定の経緯は。

教育総務課長 種茂公創設の藩校明倫堂で指導された日常生活の規範を、小学生にも理解できる内容で文章化したものである。

◆危機管理専門員について

問 総務課に配置の危機管理専門員の役割は。

町長 専門的な知識・経験を持って、防災計画作成や防災訓練の実施計画、防災教育の充実、自衛隊との連携強化など危機管理体制が図られ、また出前講座や避難訓練、自主防災組織の養成など住民と関わる体制を整える。

整備が進む図書館